

2016年9月21日
AIG ジャパン・ホールディングス株式会社

「平成 28 年熊本地震」の被災地に対する従業員参加型支援活動について

日本における AIG グループ（AIG ジャパン・ホールディングス株式会社、AIU 損害保険株式会社、富士火災海上保険株式会社、アメリカンホーム医療・損害保険株式会社、AIG 富士生命保険株式会社など）は、今年 7 月 14 日に発表した寄付等の活動*に加え、AIG グループの有志従業員が下記の活動に参加したことをご報告します。

* 2016年7月14日 AIG ジャパン・ホールディングス株式会社 プレスリリース：「平成 28 年熊本地震」の被災地に対する支援活動について（<http://www-154.aig.com/content/dam/aig/apac/japan/documents/ja/news/2016/20160714ajh.pdf>）

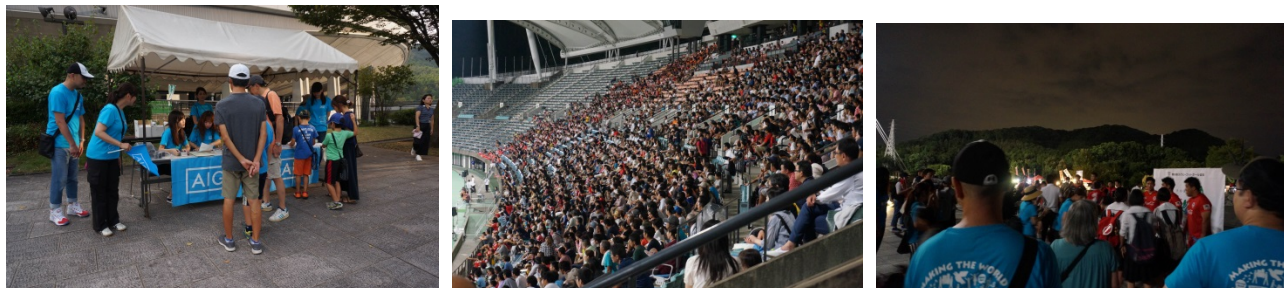
【益城町での災害ボランティア参加】



7月2日に益城町の瓦礫集積場にて瓦礫の仕分け等のボランティア活動に、AIG グループの有志従業員 30 人が参加しました。

このボランティアツアーは、従業員に「平成 28 年熊本地震」の支援策について意見を募ったところ、従業員によるボランティア活動に関する提案が多数あったことを受け、AIG 長崎ビジネスセンターの従業員によるグループ会社横断のボランティアチームが企画したものです。参加者は長崎・福岡を中心に全国から募り、先着 30 人が参加しました。

【ラグビーの試合に熊本県内の小中高生と同伴者をご招待】



8月27日に熊本で開催されたラグビーの試合に、熊本県内の被害の大きかった地域の小中高生と同伴者 105 人を AIG グループがご招待し、AIG グループの有志従業員 19 人がボランティアとして受付や誘導等を実施しました。また、試合のボランティアとして参加している地元のラグビー関係者が無料で試合

を観戦できるよう、AIG からチケット 200 枚をご提供しました。この企画についても、従業員に「平成 28 年熊本地震」の支援策について意見を募った中で、AIG がラグビー関連のスポンサーシップを実施していることに関連した支援の提案が複数あったことを受け企画したものです。

AIG グループでは、引き続き被災地域における生活再建や地域コミュニティの復興の一助となれるよう、また今後起こりうる自然災害における被害の軽減に寄与できるよう、グローバルで事業展開する保険会社としてのリソースの活用を図ってまいります。